



MAIL NEWS
 J R 東日本輸送サービス労働組合
 2022,07,04 NO. 007

週刊文春
「JR東日本代表取締役 紹興酒30本で社員が緊急搬送」
 JR東日本輸送サービス労働組合の見解と今後の対応について

第5回定期大会において 幾多の発言に取り上げられた

7月4日 抗議文を提出!

経営のトップたる役員らの行動で 35年にわたる社員の奮闘で培った JR東日本の信頼は、地に墜ちた!

- 週刊文春に報じられた「JR東日本代表取締役紹興酒30本で社員が緊急搬送」に関する全ての事実経過を明らかにすること。また、JR東日本グループに働く全ての社員に対して説明責任を果たすこと。
- 6月8日の懇親会に参加した社員の行動を指導することに切り縮めることなく、代表取締役副社長である喜勢陽一氏が同席した責任を曖昧にすることなく厳正に対処すること。
- 高い公共性を有するJR東日本として経営トップがおこなった重要な事象であることから、社会からの信頼回復と事象の再発防止に向けた具体策を協議する場として、経営協議会を開催すること。また、経営協議会は7月20日までに開催することとし、議事内容は公開すること。

上記の通り、適切かつ迅速な対応を求め JR 東日本の信頼回復に向けた具体的行動を求める!

抗議文の全文は右のQRコードから読み込み!

QRコードは (株) デンソーグループの登録商標です

「おい！紹興酒野郎！」
 「紹興酒ふざげんなよ！」
 職場から悲痛な声が続々と・・・

謝罪の順番が違おう!

“抗議文”提出翌日の会社の対応が“定例”記者会見での謝罪とは・・・

本日、深澤社長が定例記者会見の場で「この間の週刊文春報道に関する謝罪を行った」と報じられました。しかし、現場で働く私たちには謝罪どころか事実関係の説明すら未だにありません。職場によつては「週刊誌を読んだが、社員は誰のことを言うのか、具体的に私は分からない」「お客さまから声が出た場合は申告してください」など、現場で対応する私たちの苦労を足蹴にする管理者の対応に、怒りを通り越して呆れています。

東京地本には、勤務中に罵声を浴びせられたという悲痛な声が次々と寄せられています。